

見なおそう!

# みんなの健康

日本赤十字社和歌山医療センター  
http://www.2.kankyo.ne.jp/nisseki-w/

No.16

## 口腔がんにならないための自己検診法



耳鼻咽喉科部副部長  
本多 啓吾 (ほんだ けいご)

置されることが多い  
よのですが、実は、  
この白板症は「前がん  
病変」と言って、がん  
の温床であることが  
分かっています。

赤いやけどのように  
見えます。また、白  
板症と異なり、触る  
と痛かったり、食べ  
物がしみたりする特  
徴があります。紅板  
症は白板症よりすっ  
とまれですが、白板  
症よりがん化しやす  
いため、一層の注意  
が必要です。

板症や紅板症とも思  
えるものがあつた場  
合、2週間程度で改  
善しなければ、かか  
りつけの医師に相談  
してみてください。

当科では、顕微鏡  
や血管の異常を映し  
出す最新の内視鏡を  
用いて、詳細に粘膜  
を観察して、白板症  
や紅板症の悪性を  
判断しています。そ  
れが、がんの可能性  
がある場合には、粘  
膜組織の病理検査を  
行っています。

しなくてはなりません  
が、がんが進行す  
ると切除範囲も大き  
くなり、術後の後遺  
症も重くなるので、  
早期発見が大切です。  
今回は、早期がん  
の可能性がある病気  
の中で、自己検診が  
比較的容易な「白板  
症」と「紅板症」につ  
いて説明します。

一方「紅板症」は、  
粘膜が赤く見えると  
ころで、舌の横腹に  
できることが多いで  
す。紅板症は、白板  
症よりも炎症が強  
く、充血しており、  
赤いやけどのように  
見えます。また、白  
板症と異なり、触る  
と痛かったり、食べ  
物がしみたりする特  
徴があります。紅板  
症は白板症よりすっ  
とまれですが、白板  
症よりがん化しやす  
いため、一層の注意  
が必要です。

また、範囲が広い  
場合は、一部分だけ  
ががん化しているこ  
ともあるため、診断  
と治療を兼ねて全切  
除をお勧めすること  
もあります。この場  
合、通常のがんの手  
術と異なり、異常な  
粘膜のみを薄く最小  
限に切除するため、  
傷は浅く、体の負担  
も少なく済みませ  
ます。

ぜひ、自己検診を  
定期的に行い、「口  
腔がん」の予防・早  
期発見および治療  
につなげていただ  
きたいと思  
います。

日赤の耳鼻咽喉科  
は、鎖骨より上で眼  
球と脳を除く部位に  
生じる「頭頸部(と  
うけいぶ)のがん」  
を専門に治療して  
います。その中で、  
口の中にできるがん  
を「口腔がん」と呼  
び、「舌がん」「歯肉  
がん」「頬粘膜がん」  
などが含まれます。

口の中の粘膜は、  
通常ピンク色をして  
いますが、皮が分厚  
くなると白く見える  
ようになります。い  
わゆる手にできる夕  
「のような状態で、  
これを「白板症」と  
呼んでいます。歯で  
こすれたり、歯周病  
によって刺激され  
たりすることが原因  
で、舌の横腹の他、  
歯肉や頬粘膜などに  
生じます。痛くも  
なく、充血してあり、

また、範囲が広い  
場合は、一部分だけ  
ががん化しているこ  
ともあるため、診断  
と治療を兼ねて全切  
除をお勧めすること  
もあります。この場  
合、通常のがんの手  
術と異なり、異常な  
粘膜のみを薄く最小  
限に切除するため、  
傷は浅く、体の負担  
も少なく済みませ  
ます。

ぜひ、自己検診を  
定期的に行い、「口  
腔がん」の予防・早  
期発見および治療  
につなげていただ  
きたいと思  
います。

「舌がん」「歯肉  
がん」「頬粘膜がん」  
などが含まれます。

「舌がん」「歯肉  
がん」「頬粘膜がん」  
などが含まれます。

「舌がん」「歯肉  
がん」「頬粘膜がん」  
などが含まれます。

「舌がん」「歯肉  
がん」「頬粘膜がん」  
などが含まれます。

これらの記事等は新聞社の承諾を得て掲載してまいります。